

## 臨床研究に関する情報公開

倫理審査委員会の承認を得て、下記の調査研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。なお、これまで福井大学附属病院子どものこころの診療部と平谷こども発達クリニック発達外来を受診された方でデータの使用を拒否される場合は下記問い合わせ先へご連絡ください。ご連絡いただいた時点より集計対象から除外することを保証いたします。

【研究課題名】 発達障害特性の早期発見/見落とし防止のための調査研究

【研究期間】 承認日 から 2024 年 3 月 31 日

### 【対象者】

福井大学附属病院子どものこころ診療部が開設された 2011 年 10 月から現在までに当診療部を受診した方と、平谷こども発達クリニックが開設した 2001 年 4 月から現在までに当クリニック発達外来を受診した方。

### 【研究目的】

自閉症スペクトラム障害や注意欠陥多動性障害などの発達障害の特性は成人になっても続くものであり、発達障害特性の見落としはその子どもの成人期以降の生活にも影響を及ぼすと考えられ、避けなければならないものです。しかし、診断をする医師が子どもを観察する診察場面は非日常場面であり、生活場面での様子を把握するためには、保護者や教員の記入した質問紙やアンケートに頼る部分が多いことが事実です。よって、保護者や担当教員が質問紙やアンケートにおいて、子どものどのような部分に着目して記入しているのかを明らかにすることは、子どもの正確な評価のためにも重要であると思われまます。

そこで、本研究の目的は、発達障害の診断を受けた子どもの①初診時に保護者と教員もしくは本人に記入してもらった「質問紙やアンケート」間の得点のパターンや関連を明らかにして診断別に特徴を明らかにすること、②初診時に行った「心理発達検査」得点のパターンや関連を明らかにして診断別に特徴を明らかにすること、③それらの「質問紙やアンケート」と「心理発達検査」得点の関連を診断種ごとに明らかにして診断別に特徴を明らかにすること、④上述した①から③の事柄と主訴などの診療録や言語聴覚士などによる療育指導の個別記録に記載された内容との関連を明らかにすること、としています。

この研究によって、子どもの特徴によって保護者や教員が見落としがちな発達障害の特徴が明らかにできます。その結果として、発達障害特性の見落とし防止や早期発見に寄与することができると考えています。

### 【研究の方法】

上記した対象に該当する方の、初診時に保護者と教員もしくは本人に記入してもらった「質問紙やアンケート」、初診時に行った「心理発達検査」、診療録や療育指導の個別記録

のデータを匿名化した上で集計し、統計学的な処理を行い、各々の関係性について検討します。学会発表や論文発表などの際、個人が特定されるようなエピソードや家族歴や生育歴に関しては、研究の本質が損なわれない程度に修正を加え、個人が特定できないように配慮します。

#### 【研究組織】

責任者	藤岡 徹	子どものこころの発達研究センター
研究分担者	小坂 浩隆	精神医学
研究分担者	友田 明美	子どものこころの発達研究センター
研究分担者	藤澤 隆史	子どものこころの発達研究センター
研究分担者	滝口 慎一郎	子どものこころ診療部
研究分担者	丁 ミンヨン	子どものこころの発達研究センター
研究分担者	川谷 正男	小児科学
研究分担者	巨田 元礼	小児科学
研究分担者	小坂 拓也	小児科学

#### 【本研究に関する問い合わせ】

本研究は情報を匿名化して取り扱い、個人情報 を 厳重に保護して行います。なお、本研究や保有する個人情報に関するお問い合わせなどがございましたら、下記へご連絡ください。

##### ○ 問い合わせ窓口

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下月 23-3  
福井大学子どものこころの発達研究センター 藤岡徹  
電話:0776-61-3111 E-mail: tfujioka@u-fukui.ac.jp

##### ○ 苦情の窓口

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3  
福井大学医学部附属病院医学研究支援センター  
電話 : 0776-61-8529

受付時間 : 平日 8 : 30~17 : 15 (年末年始、祝・祭日除く)